

木漏れ日の魅力とおまじないの力の可能性

- オリジナルブランド「COMORE」の提案を通じて -

1811076 矢田奈々帆

研究の背景

「木漏れ日」は、
「自然からの贈り物」なのだと私は思う。

「心地よい」「美しい」「優しい」「あたたかい」おそらく多くの人が、木漏れ日に対してそのような印象を持ち、その魅力に惹かれるのではないだろうか。運が良ければ巡り会うことができる木漏れ日は、言い換えると「自然からの贈り物」とも言えるかもしれない。では、木漏れ日の人々を惹きつけるのはなぜだろうか。筆者はその答えを見つけたいと思った。

「おまじない」は、

人が祈りや願いを込める強い思いから生まれる。

人が祈りや願いを叶えようとする強い思いから生まれる行為である「おまじない」。おまじないを通じて信じる行為そのものが、人々の心の支えとなっていることも少なくはないのではないだろうか。そんな「おまじない」の魅力についてを探りたい、筆者はそう思った。

「木漏れ日」と「おまじない」は、一見特に共通点もなく、相見ることのなかった二つのように思える。しかし研究を進めていく中で、これら二つが組み合わせることで、私たちの暮らしを今より良いものにしてくれる新しい可能性が生まれるのではないかという希望を持った。そしてその希望を実現させるべく、「木漏れ日」と「おまじない」について研究を深めていこうという変えに至ったのである。

研究の目的

木漏れ日が人間を魅了する理由を明らかにすると同時に、木漏れ日という現象が人々に与える心情面での効果を考察し、木漏れ日の新たな魅力と可能性を模索すること。

おまじないという存在がもたらす人への心理的作用を調査し、おまじない行為の魅力も再確認すること。

1、2で明らかになった、木漏れ日の新たな魅力とおまじないの力の可能性をコンセプトやデザインに取り入れたブランドの提案・検証をおこなうこと。

研究の流れ

1 調査と考察

「木漏れ日」と「おまじない」それぞれの魅力を明らかにする。

2 二つの相乗効果を検討

1で明らかにした魅力を掛け合わせた新しい「価値」を提示する。

3 新たなブランド考案

2で見つけた「価値」を暮らしに取り入れられるようなブランドを考案する。

4 実制作

3で考案したブランドの製品、LookBookを実際に制作する。

5 検証

4で制作した製品を実際に使用してもらい、検証をおこなう。

6 結論

本研究のまとめと提言を示す。

木漏れ日の魅力

「木漏れ日」の魅力とは
人間が日常で抱く様々な気持ちを受け止め
寄り添うことができること。

今回は、文学作品における木漏れ日の描写と、美術作品における木漏れ日の表現を調査し、人々にとって木漏れ日がどのような存在であるか明らかにしていった。

文学作品の調査では、インターネット上の著作権切れの文学作品アーカイブである青空文庫から、若山牧水や堀辰雄などの文豪の六作品を分析。また美術作品の調査で、五十嵐威暢や小林孝亘などの作家の六作品を分析。これらの調査か見えてきたことは、木漏れ日は「人間が日常で抱く様々な気持ちを受け止め、寄り添うことができる」ということである。

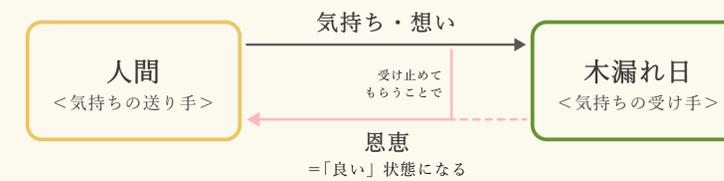
私たちが日常の中で抱く、喜怒哀楽、その他様々な感情の全てを、木漏れ日はただ優しく受け止めてくれる。全ての人に平等に、その寛大さを見せてくれる木漏れ日だからこそ、私たちは皆その魅力に惹かれるのではないだろうか。

おまじないの魅力

「おまじない」の魅力とは
おまじない行為をおこなうことで自身の心を
強く持つことができるようになること。

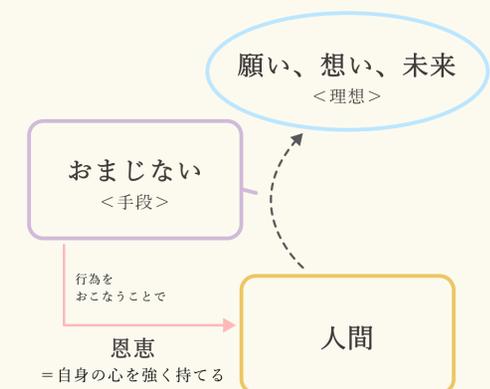
世界や日本に伝わるおまじないを調査する中で見えてきたのは、おまじないは実際に効果があるかどうかは重要ではないということ。おまじないという行為の根底にあるのは、安心感を得たい、決意を固めたいという願望があるからなのではないだろうか。おまじないが私たちの心に与えてくれる力を、私たち自身が求めてきたから、現在に至るまで多くのおまじないがなされてきたのだと考えられる。

木漏れ日とおまじないの相乗効果

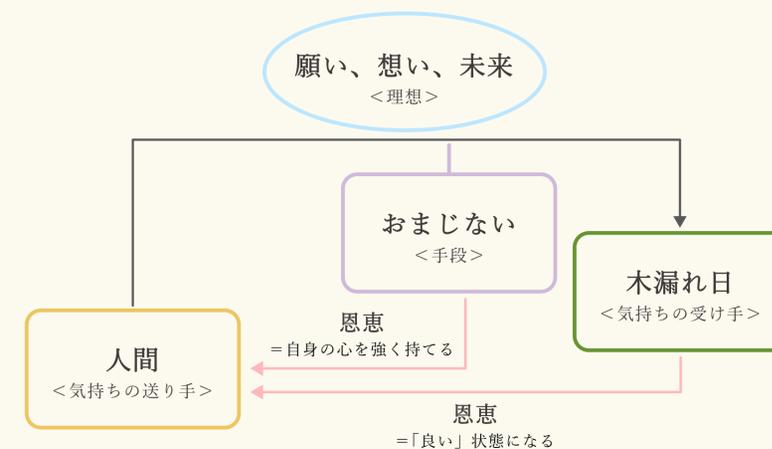


私たち人間が様々な気持ちを託したり、想いを馳せたりする、気持ちの「送り手」としてであるならば、木漏れ日はそれを受け止め寄り添ってくれる、気持ちの「受け手」という立ち位置になる。木漏れ日に自身の気持ちを受け止めてもらい、さらには寄り添ってもらうことによって、人間はそれ以前より「良い」状態になることができる。

誰しもが内に持っている叶えたい願い、伝えたい想い、実現させたい未来。その内容は多種多様であるが、それらに向かって自身の心を強く持つために、おまじないをする。つまり、おまじないは、人間がおこなう、理想のために自身の心を強く持つための手段だと考えられる。



「人間」が、様々な想いや願いを実現させようと心の安定を求めておこなう「おまじない」を「木漏れ日」に向けておこなう。すると木漏れ日は、その想いや願いの全てを受け止め、寄り添ってくれる。最終的に、人間は木漏れ日に受け止めてもら



うことによって得られる恩恵(=以前よりも「良い」状態になる)と、おまじないをおこなうことによって得られる恩恵(=自身の心を強く持てるようになる)、その双方を得ることができるようになるのではないだろうか。

ブランドの考案

木漏れ日とおまじないの相乗効果による新たな価値創造を実現させるべく、筆者は双方の魅力を掛け合わせた新しいブランド「COMORE」を考案することにした。

こもあ 「COMORE」

「こもれび」を英語表記した「komorebi」の頭の部分からとった言葉。

「co」は「互いに」「一緒に」の意味。人々と「互いに」想いをやり取りし、人々の暮らしと「一緒に」ある、そんなブランドであってほしい。

「more」は「もっと」の意味。人々の暮らしが「もっと」素敵なものになるようにという願いを込めて。

「Co - Mo - Re」=「込もれ」の意味も合わせ持つ。想いや願いがきちんと「込もってほしい」という発案者である筆者の想い。

「COMORE」が目指すもの

- 自然現象である木漏れ日を、人々の暮らしの中に取り入れること。
- 木漏れ日とおまじないの掛け合わせによって創造される新たな価値を、本ブランドを通して人々に提供し、人々の暮らしを今よりも豊かにすること。

のちに他者を通じておこなう検証も、これらの目的がどう達成されたかという視点で実施する。

プロダクトモデルの制作

端材を使うこと。

そこには「不要なもの」から「必要なもの」を

生み出すクリエイティビティがある。

「COMORE」のプロダクトは主に端材を再利用する。これには二つの意図がある。その一つは、「揺らぎ」などの木漏れ日を持つ「不確定要素」を、種類が一つに定まらない端材を用いることで、端材で表現できると考えたからである。もう一つは、私たち人間の基準で「不要なもの」と判断された端材を組み合わせることで、新しく「必要なもの」を生み出す過程に、クリエイティビティを感じたからである。

実際の制作では、敢えて細かな寸法などは決めず、一つ一つの端材と向き合い、各端材が輝ける組み合わせになるよう試行錯誤を重ねてつくった。完成したプロダクトは、木漏れ日を持ついくつかの魅力要素として取り込んだ全5種、計9つである。

LookBookの制作



LookBookはA5サイズで、表紙と裏表紙の間に蛇腹の形でページが収まっている。文字は少なく写真がメインで、「COMORE」のブランドの雰囲気やプロダクトを、ビジュアル的に伝えている。

あなたの暮らしと心に寄り添う、 木漏れ日によるおまじないブランド

こもれば、それは人のいかなる心も受け止める、自然からの贈り物。
木々の間から漏れる光のもとで、私たちは様々な想いを昇華させる。

おまじない、それは信じることで生まれる、古からの贈り物。
森羅万象に祈りを込めて、私たちは今よりもっと幸せを願う。

毎日の暮らしのそばに、心の拠り所をつくる。

COMORE（こもあ）、こもればがくれる、あなたのためのおまじない。

私たちの祖先は、樹木の間から溢れてくる太陽の光を「こもれば」と名付けました。固有の名を与えたということは、それだけこの「こもれば」が特別な存在だったのでしょう。

時に想いを託し、時に慰めてもらい、時に何気ない日常を美しく見せてもらい…

時代が変わっても、その在り方に変わりはありません。

私たちは「こもれば」という存在に、数多くの気持ちを投影し続けています。

そして「こもれば」は、いつでもそんな私たちの気持ちに寄り添ってきてくれたのです。

他方、世界には数多くの「おまじない」があります。

古から人々は、「おまじない」によって安

心感を得て、決意を固めてきました。

「おまじない」という行為そのものが、自信を強く持つための力となります。

「おまじない」は、今も昔も未来でも、私たちの心の支えとなってくれるものなのです。

ここまで読んでいただければ、「こもれば」と「おまじない」が、どちらも人の「心」に大きな力を与えてくれる存在であることがわかんと思います。

そんな「こもれば」と「おまじない」を、もっと身近に感じられたら。もっと暮らしのそばに置いておくことができれば。

そんな思いから誕生したのが、

「COMORE（こもあ）」です。

COMORE が、あなたの日々の幸せをつくるきっかけになりますように。



1

木漏れ日を感じられる
デザインで
暮らしに彩りを添えます。



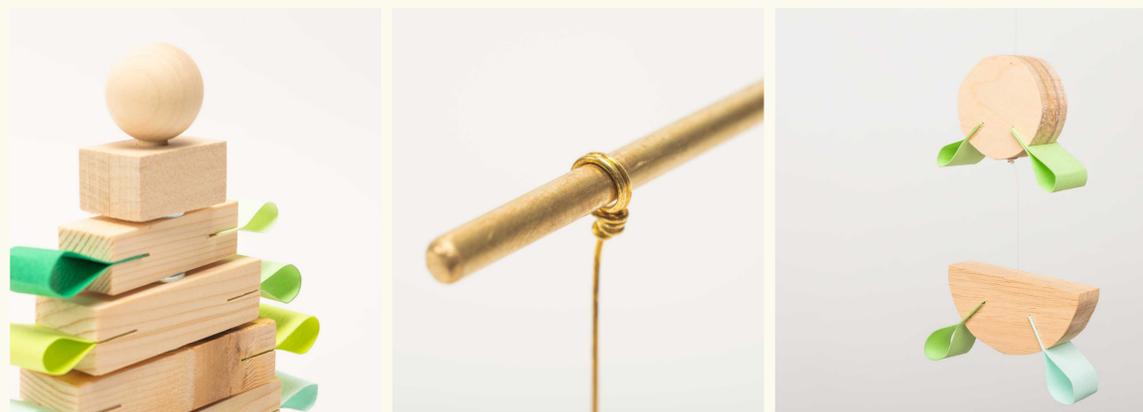
2

樹木を感じられる香りで
リラックスできる時間を
提供します。



3

日々抱く願いや祈りを
木漏れ日に
込めることができます。



検証の結果

昔、木漏れ日を見たときにとても綺麗で素敵だなと思ったが、その時の光景が蘇った。木漏れ日の存在を感じた。

「木漏れ日」とこのプロダクトをより一層直結させるためには、実際の「光」を利用して、影の形がもっと楽しめるようになったらいいなと思った。

大木を抱きしめているようなイメージで、願い事を木漏れ日に受け取ってもらっているような気がした。

「COMORE」から木漏れ日の存在を感じることができた、また木漏れ日がおまじないを通して想いや願いを受け取ってくれたように感じた、という感想から、「COMORE」は目的を概ね達成できたと言える。一方で、もっと木漏れ日を感じれるようにする工夫、おまじないをしやすくする工夫が必要であることもわかった。

研究の結論

木漏れ日には「人間が日常で抱く様々な気持ちを受け止め、寄り添うことができる」という魅力、おまじないには「おまじない行為をおこなうことによって自身の心を強く持つことができるようになる」という魅力を発見することができ、また木漏れ日とおまじないの魅力を掛け合わせることでより生まれる新たな可能性を見出すこともできた。そして、その可能性を体現したブランドである「COMORE」を考案し、実際の検証から「COMORE」が人々の暮らしをより豊かなものにできること、さらに今後の発展の可能性までもを提示することができた。